

# 第2回 新・災害対策委員会

平成30年9月28日(金) 13:45~16:00  
AP品川アネックス

今期も重点課題に位置づけた「生団連災害情報ネットワーク」。当日はその進捗状況と、昨年の「新・災害対策委員会」立ち上げ以降、事務局で検討を進めている物資支援システム「生団連サプライ」のコンセプト・仕組みについて説明しました。また、「生団連サプライ」の前段階として、生団連会員間の情報共有の場を立ち上げることを決議いたしました。



▲SSPJの川堀様(写真右)には、実際に「生団連サプライ」のデモ画面を操作しながら、支援の流れについて、委員の皆様へ説明いただきました



▲ご参加の会員より、質問や意見をいただきました



▲特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン(PWJ)様には、支援活動についてご報告いただきました(詳しくは右ページをご覧ください)

## 議事内容 「生団連災害情報ネットワーク※」の構築について

### (1)「生団連サプライ」のコンセプト・仕組みについて

- 災害支援に取り組む一般社団法人Smart Survival Project (SSPJ)様と連携した、「災害情報ネットワーク」のアウトプットとしての災害時の物資支援システム「生団連サプライ」
- 災害時に必要となる物資で、各会員企業が提供できるものをあらかじめリストアップし、支援を「準備可能なもの」にする

※「生団連災害情報ネットワーク」とは…

- ・生団連の会員ネットワークと各会員のそれぞれの地域における自治体との連携を活用し、被災地・被災者の正確な情報を収集・集約する仕組み
- ・収集・集約された現地情報を会員、更に政府自治体と情報共有し、被災地の実情に則した支援活動を展開

### (2)今後のアクションプラン

- ① 会員間の情報共有の場の立ち上げ(facebookを活用)「生団連サプライ」の前段階として、各会員による支援活動の報告や現地ニーズの把握を行う
- ② 「想定支援物資リスト」の作成  
これまでのSSPJの支援実績を参考に、各会員が対応可能な物資についてアンケートに回答。「生団連サプライ」の基となる、「想定支援物資リスト」の作成へ

●委員会に先立ち、「平成30年7月豪雨」についてOffice Unite☆Unit代表の浦山 寧子様にご講演いただきました。

## 講演:「平成30年7月豪雨」について Office Unite☆Unit 代表 浦山 寧子様

広島県呉市生まれ。「KUREP」編集長。地元タウン誌や読売新聞のエリア記者などを歴任し、現在はライター、フードアナリストとして取材執筆、また企業や個人事業主の広報やSNS代理運営、マーケティングなどの専門家として、講座や運営サポートを行っている。

### 【KUREPについて】

「呉好きによる、呉好きのための、もっと呉界隈が好きになる」呉の楽しい情報を発信するオウンドメディア。

Twitter: <https://twitter.com/kurep90>

Facebook: <https://www.facebook.com/kurep90/>

WEBページ:<https://kurep.com/>

今回の「平成30年7月豪雨」を受け、KUREPを利用し被災状況や生活情報を発信。Twitter(即時性のあるもの、とにかく情報量・スピード重視)、Facebook(Twitterの情報を少しまとめた記事)、WEBページという3段階で情報を整理して発信している。



## 《講演要旨》

「平成30年7月豪雨」で甚大な被害を受けた広島県呉市。土砂崩れなどで交通網が寸断され、一時は物資が入ってこない、人の往来ができない、繋がるのはネットだけという「陸の孤島」に。

## 今回の豪雨災害でみえた問題点

- **非常時の情報収集と発信のあり方**
  - ・発災直後は市からの公式な情報がほとんど出されなかった  
⇒情報源のはっきりしている情報のみを「KUREP」で発信
- **表面化しないニーズ**
  - ・SOSの発信の仕方を知らない方も
  - ・他の地域の方が大変だからと遠慮する場面も  
⇒実際には不足しているモノもあり、助けが必要なことも多い
- **行政と自治体、ボランティアの連携の取り方、受け入れ方など**
  - ・岡山県総社市では機能的に支援ができていた  
⇒支援物資は欲しい人が直接取りに来る「フリーマーケット」のスタイルで、無駄なく必要としている人のもとへ渡っていた
- **長期にわたる復興期間**
  - ・発災から2カ月半を経て、少しずつモノが動き始め、復旧はしてきているものの、「ふつう」にはまだ遠い



## 「平成30年7月豪雨」災害支援活動報告

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 竹中 奈津子 様、徳 恵利子 様



《報告要旨》「平成30年7月豪雨」に対するPWJの3つの支援活動

### ①発災直後の病院レスキュー

岡山県倉敷市のまび記念病院の緊急避難レスキューを、PWJが所有しているヘリ2機などを用いて実施

### ②避難所での診療と衛生環境整備

岡山県倉敷市蘭小学校の避難所で、被災者の方への診療を行うと同時に、避難所内の衛生環境を整備

### ③避難所への物資支援

岡山県と広島県の避難所で、食料、飲料、衣料、化粧品、クーラー設置等の物資支援を続けている